

## 第5学年外国語科学習指導案

平成30年10月25日(木) 2校時  
5年1組 男子17名, 女子16名  
実習生  
指導教諭名

### 1 単元名 What time do you get up?—1日の生活—「We can! Unit4」

### 2 単元目標

- 一日の生活について聞いたり言ったりすることができる。(知識・技能)
- 一日の生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えたり, 一日の生活について伝え合ったりする。(思考力・判断力・表現力)
- 自分の一日の生活について伝え合おうとする。(学びに向かう力, 人間性等)

### 3 言語材料

- What time do you (get up)? I (usually) (get up) at (7:00).
  - always, usually, sometimes, never, at, get up, 手伝い (wash the dishes, set the table, clean my room, get the newspaper), koala, lion
- [既出]日課, 数(1~60), 動作, 曜日, スポーツ, 教科, walk, take out the garbage

### 4 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

### 5 単元について

#### (1) 教材観

本単元は、1日の生活について聞いたり話したりする活動を通して、日課を表す様々な表現とともに、always, usuallyなどの頻度を表す語を学び、最後に自分の日課について発表するという内容である。普段の生活の中で、友達が何時に起きて何時に寝るかなどについて聞く機会はあまりないと思われることや、5年生のこの時期の児童は、他教科でも1日の生活について考える機会が多くあることから、友達や先生の1日の生活に関心をもって話を聞いたり、積極的に自分のことを話したりすることができる教材だと考えられる。

#### (2) 児童の実態

本学級の児童は、明るく活発で、英語の学習に対しても意欲的に取り組む児童が多い。自らの考えを発表し、学級全体で共有することができる児童が一定数いる一方で自分の考えを持っていながら、なかなか進んで発表できない児童もいる。児童は、これまでに日課や数、動作、曜日、スポーツ、教科などの英語での表現の仕方を学習してきた。また、本単元と関連のある内容として、家庭科の「家

庭生活と分担仕事」や「生活時間の有効な使い方」、道徳の「生活習慣の大切さを知る」や「家族みんなで協力し合い、進んで役に立つことをする」ことなども学習している。さらに、日常会話の中でも前日の出来事を話してくれる児童も多いことから、自分や他者の1日の生活について関心を持っている児童が多いだろうと考えられる。頻度を表す英語表現については、これまであまり触れてきていないため、理解が難しいと考えられる。

### (3) 指導観

指導にあたっては、チャンツや small talk, 等で新しい表現に十分に慣れ親しんだあと、友達や先生にインタビュー活動等を通して、日課や頻度の表現を使った簡単なコミュニケーションができるようになることを目指したい。ここでは、普段あまり聞くことのない先生や友達の1日について尋ねることができるため、単にテキストの表現を繰り返すことにとどまらず、児童の「尋ねてみたい」という気持ちを大事にしながら、インタビュー活動に取り組みたい。また、頻度の概念と英語表現を結び付けることは、児童の発達段階からも難しい点もあるが、できるだけ本当の情報をやりとりすることができるよう、授業中の会話の中でも繰り返し積極的に使っていけるようにしたい。そのために、チャンツや small talk に加えて1週間の表を見ながら頻度の表現を繰り返し確認することや、ポインティングゲームで楽しみながら頻度の表現に慣れ親しむ活動等も積極的に取り入れていきたい。さらに、本単元の学習内容は家庭科や道徳などの他教科とも関連づけることができるものであるため、自分自身の日課や家庭での手伝いなどについても取り上げることで、自分たちの生活を見直すきっかけにもできるようにしていきたい。

## 6 指導計画(全8時間)

時数		○主な学習活動	◇評価の観点(方法)
第1次	1	単元の見通しを持ち、日課を表す表現を確認する。Let's watch and think 1 で世界の子どもたちの生活について、おおよその内容を聞き取る。	【知識・技能】どんな国でどのようなことがされているかを聞き取り、ワークシートに記入している。(ワークシート)
	2	頻度を表す表現を理解し、Chant やポインティングゲームなどを通して繰り返し聞いたり言ったりする。	【知識・理解】頻度の表現を理解し、聞いたり言ったりしている。(行動観察・振り返りシート)
	3	インタビューや Let's listen など自分自身の1日の生活について英語で言ったり、他者の1日の生活について聞いたりする。	【主体的】頻度の表現を使って1日の生活について、聞いたり言ったりしている。(行動観察・振り返り)
第2本時	4	家での役割の表現を知り、Chant やゲーム、友達へのインタビュー(ペア)を通して繰り返し聞いたり言ったりする。	【知識・技能】家での役割の表現を理解し、聞いたり言ったりしている。(行動観察・振り返り)
	5	家での役割の表現を Chant やゲームなどを通して言ったり聞いたりし、友達や先生に日課をインタビューする。	【主体的】家での役割の表現を使って、積極的に友達や先生にインタビューしている。(行動観察・振り返り)

	6	家での役割について興味を持って Let' s watch and think 2 を視聴し、世界の国々の生活についておおよその内容を聞き取る。	【知識・技能】登場人物の家での役割を聞き取り、分かったことを表に記入している。 (ワークシート・振り返り)
第3次	7	頻度を表す語彙を使い、私の1日の日課や家での役割について紹介するためのメモを作成する。	【思・判・表】ワークシートに自分の1日の日課やお手伝いについてまとめている。(ワークシート)
	8	頻度を表す語彙や、日課・家での役割の表現を使いながら1日の日課を発表する。	【主体的】自分の1日の日課の紹介を進んでしたり、聞いたりしている。

## 6 本時の学習

### (1) ねらい

- ・ 友達の1日の日課について尋ねたり聞いたりする。

### (2) 準備

- ・ 絵カード(日付,曜日,気分など)・電子黒板

### (3) 展開(4/8時間目)

過程	学習活動	HRT	評価観点
導入 (10分)	①Jingle&Greeting  ②Story time に取り組む ③small talk	・ Daily question でコミュニケーションをとったりやJingleを取り入れたりして、学習の雰囲気をつくる。 ・ 指で追いながら読めるよう促す。 ・ 新出の表現を用いて、絵カードで確認しながら「家での役割(お手伝い)」へと導入する。	
展開 (30分)	④Chant に取り組む。 I always wash the dishes.  ⑤本時のめあてを確認する。	・ Chant に出てくる新出の表現を押しさえる。児童の様子を見ながら何度か繰り返す。 ・ めあてを確認し、インタビュー活動への意欲を持たせる。	
	友達のお手伝いを探してみよう		
	⑥カルタゲームに取り組む。  ⑦ジェスチャーゲームに取り組む。  ⑧家での役割について、友達にインタビューする。	・ ゲームの前に質問の仕方を練習する。  ・ ゲームの前に新出の表現を再度練習する。  ・ 教師と子どもでデモンストレーションを行う。	【知識・技能】 家での役割の表現を理解し、聞

			いたり言ったりしている。
終末 (5分)	⑨振り返りカードを書いて 本時を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"><li>・英語で友達に質問できた。</li><li>・友達の家での役割を聞いて楽しかった。</li></ul>	